

文化財の研究情報の公開・活用のための総合的研究 (①企01-12-2/5)

目 的

本研究は、他機関との連携をはかり、文化財の研究情報について、効果的に発信してゆくための手法を研究・開発し、文化財に関する研究情報の蓄積を行うとともに、公開・活用のための手法等について総合的に研究することを目的とする。また、東京文化財研究所の全所的アーカイブズの構築を推進する。

成 果

昨年度所内公開した「東京文化財研究所所蔵資料アーカイブズ『みづゑ』(試行版、創刊号～10号)」に改良を加えて一般公開を開始し(<http://mizue.bookarchive.jp/index.html>)、10号以降についても公開する準備を進めた。これと並行して、『日本美術画報』を素材に、図版主体の貴重雑誌の効果的な公開方法についても検討を重ねた。以上については引き続き国立情報学研究所と連携をはかり、研究協議会を重ねながら(5/29、6/25、7/26、9/7、10/22、11/27、1/17、2/19)進めている。

本年度からの新たな取り組みとして、東京文化財研究所アーカイブズ運営委員会のもとにワーキンググループを組織し、全所横断的な研究資料アーカイブズの構築に向けて、以下についての協議(5/8、6/12、7/31、9/3、10/4、12/12、3/5)と作業を行った。

- ・ 研究所所管資料の所在調査
- ・ 全所的アーカイブズ構築に向けての構想づくり
- ・ 全所的アーカイブズ構築に向けての可能性と問題点の洗い出し
- ・ 研究所刊行物記事データベース(簡易版)の作成
- ・ 研究所刊行物アーカイブズ(実験試行版)の作成

研究組織

○綿田稔、田中淳、山梨絵美子、二神葉子、小林公治、津田徹英、塩谷純、小林達朗、皿井舞、城野誠治、井上さやか、橘川英規、中村明子、鳥光美佳子(以上、企画情報部)、中村佳史、丸川雄三(以上、客員研究員)、飯島満、佐野千絵(以上、企画情報部併任)、早川泰弘、津村宏臣(以上、保存修復科学センター)、山内和也、加藤雅人(以上、文化遺産国際協力センター)、高砂健介(研究支援推進部)

備 考

本研究のうち、「研究所刊行物アーカイブズ(実験試行版)の作成」は、所長裁量経費「東文研刊行物アーカイブの構築」(企11)によるものである。